

科目名	HOUSE 2							年度	2024
英語科目名	HOUSE 2							学期	後期
学科・学年	ダンスパフォーマンス科 1 年次	必／選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	shu_hei/OHISHI/KAZZ/Takky		教員の実務経験		有	実務経験の職種		プロダンサー	
【科目の目的】									
この科目ではストレッチやアイソレーション等、基本的な体の動きを学び、ステップやコンビネーションを理解して作品を作ります。また振付を通して応用的なHOUSEの表現を学びます。									
【科目の概要】									
この科目ではストリートダンスを修得するうえで必要なストレッチやアイソレーション等、基本的な体の動きを学び、ハウスダンスのステップやコンビネーションを理解して作品を作る事を目的とします。ハウスダンス特有の早いテンポの音楽とダイナミックな動きを習得し、ダンスの表現の幅を広げていきます。また、ダンスバトルやコンテスト等のストリートシーンでの活躍を目指すダンサーの資質を育てます。									
【到達目標】									
A. 各部位のアイソレーション技術を理解、習得する。 B. アップダウンの動きを理解し音楽に対してリズムキープができる。 C. HOUSEの基礎的なステップを理解、習得する。 D. 振付に合わせた最適な表現方法、グループを身に付ける。									
【授業の注意点】									
ストレッチ、体幹トレーニングによる基礎体力作り、アイソレーションを通して体の動き理解する。毎レッスンテーマにそった課題振付を反復練習する事でステップやコンビネーションを修得する。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	受講態度も良く各部位のアイソレーション技術を理解、習得している。	受講態度も良く各部位のアイソレーション技術をやや理解、習得している。	各部位のアイソレーション技術を理解、習得しているが受講態度が良くない。	各部位のアイソレーション技術の理解、習得度が低い。	受講態度も悪く各部位のアイソレーション技術の理解、習得ができていない。				
到達目標 B	受講態度も良くアップダウンの動きを理解し音楽に対してリズムキープができる	受講態度も良くアップダウンの動きを理解、習得している。	アップダウンの動きを理解、習得しているが受講態度が良くない。	アップダウンの動きの理解、習得度が低い	受講態度も悪くアップダウンの動きの理解、習得度が出来ない。				
到達目標 C	受講態度も良くHOUSEの基礎的なステップを理解、習得している。	受講態度も良くHOUSEの基礎的なステップをやや理解、習得している。	HOUSEの基礎的なステップをやや理解、習得しているが受講態度が良くない。	HOUSEの基礎的なステップの理解、習得度が低い。	受講態度も悪くHOUSEの基礎的なステップの理解、習得ができていない。				
到達目標 D	受講態度も良く振付に合わせた最適な表現方法、グループを身に付けている。	受講態度も良く振付に合わせた最適な表現方法を身に付けている。	振付に合わせた最適な表現方法を身に付けている受講態度が良くない。	振付に合わせた最適な表現方法の習得度が低い。	受講態度も悪く振付に合わせた最適な表現方法の習得が出来ていない。				
到達目標 E									
【教科書】									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】									
試験・課題レポート 成果発表 平常点	30% 40% 20% 10%	試験と課題を総合的に評価する 授業内容の理解度を確認するために実施する 授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する							
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		HOUSE 2				年度	2024
英語表記						学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	コンビネーション	基礎動作を組み合わせる	1	コンビネーション	フロアでのコンビネーション 短い振付による動き1	2	
			2	コンビネーション	フロアでのコンビネーション 短い振付による動き2		
			3	コンビネーション	フロアでのコンビネーション 短い振付による動き3		
2	コンビネーション	基礎動作を組み合わせる	1	テクニク	ターン・ジャンプ・ステップ+ルーティーン1	2	
			2	テクニク	ターン・ジャンプ・ステップ+ルーティーン2		
			3	テクニク	ターン・ジャンプ・ステップ+ルーティーン3		
3	振付	振付による表現	1	振りを踊る	ステップ+ルーティーン1	2	
			2	振りを踊る	ステップ+ルーティーン2		
			3	振りを踊る	ステップ+ルーティーン3		
4	振付	振付による表現	1	振りを踊る	表現力を促すためのコンビネーション1	2	
			2	振りを踊る	表現力を促すためのコンビネーション2		
			3	振りを踊る	表現力を促すためのコンビネーション3		
5	実践リハーサル	修了公演に向けたリハーサル	1	リハーサル	オリジナル作品振り入れ1	2	
			2	リハーサル	オリジナル作品振り入れ2		
			3	リハーサル	オリジナル作品振り入れ3		
6	実践リハーサル	修了公演に向けたリハーサル	1	リハーサル	オリジナル作品振り入れ4	2	
			2	リハーサル	オリジナル作品振り入れ5		
			3	リハーサル	オリジナル作品振り入れ6		
7	実践リハーサル	修了公演に向けたリハーサル	1	リハーサル	オリジナル作品振り入れ7	2	
			2	リハーサル	オリジナル作品振り入れ8		
			3	リハーサル	オリジナル作品振り入れ9		
8	実践リハーサル	修了公演に向けたリハーサル	1	リハーサル	オリジナル作品構成1	2	
			2	リハーサル	オリジナル作品構成2		
			3	リハーサル	オリジナル作品構成3		
9	実践リハーサル	修了公演に向けたリハーサル	1	リハーサル	オリジナル作品構成4	2	
			2	リハーサル	オリジナル作品構成5		
			3	リハーサル	オリジナル作品構成6		
10	実践リハーサル	修了公演に向けたリハーサル	1	リハーサル	ソロパート及びセクションごとのパート習得1	2	
			2	リハーサル	ソロパート及びセクションごとのパート習得2		
			3	リハーサル	ソロパート及びセクションごとのパート習得3		
11	実践リハーサル	修了公演に向けたリハーサル	1	リハーサル	ソロパート及びセクションごとのパート習得4	2	
			2	リハーサル	ソロパート及びセクションごとのパート習得5		
			3	リハーサル	ソロパート及びセクションごとのパート習得6		
12	作品発表	場当たり	1	場当たり	実寸アクティングエリアでの動作確認1	2	
			2	場当たり	実寸アクティングエリアでの動作確認2		
			3	場当たり	実寸アクティングエリアでの動作確認3		
13	作品発表	照明リハーサル	1	照明確認	照明の中でのパフォーマンス確認1	2	
			2	照明確認	照明の中でのパフォーマンス確認2		
			3	照明確認	照明の中でのパフォーマンス確認3		
14	作品発表	ステージ上でのパフォーマンス研究	1	パフォーマンス	観客の前でのパフォーマンス1	2	
			2	パフォーマンス	観客の前でのパフォーマンス2		
			3	パフォーマンス	観客の前でのパフォーマンス3		
15	振り返り	1年次の振り返り	1	基礎振り返り	基礎の習得度確認リズム	2	
			2	基礎振り返り	基礎の習得度確認アイソレーション		
			3	基礎振り返り	基礎の習得度確認ステップ		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							